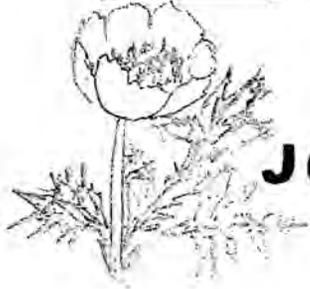




奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉



JOIN US IN NARAYAMA!

ならやま里山林プロジェクトの一年

古川 祐司

昨年3月、古都保存法による県買入地の景観形成事業に応募してから、1年が経過しようとしています。本格的にスタートした4月以降、ベースキャンプ作り、周りを取り巻く竹やぶの整備、放棄されていた畑の復元などを中心とする整備計画の第一ステップを完了し、目下、第二ステップの里山林整備に取り掛かったところです。

この間、ベースキャンプには、ベンチ、乗用車10台分の駐車スペース、可動式トイレなどのインフラを整備しました。また、復元した600平米の畑ではサツマイモ、ダイコン、タマネギなどが育ち、会員の楽しみ場となっています。特に重点を置いた竹林の景観復元作業と、自転車専用道路周辺の笹の刈取りと放棄ごみの撤去などの環境整備活動は、目に見える大きな成果となっていて、奈良県の窓口責任者から高く評価して頂いています。

過去11ヶ月の間の活動回数は31回、参加者の人数は延べ350人に達しました。活動が進むにつれて周りの景観が少しずつ変化していく様子が見え、我々を勇気付けてくれます。自然の中で流す気持ちいい汗を流し、よみがえっていく里山の風景に惹かれて、参加人数は回を追う毎に増えてきました。会員以外からも、この里山にほれ込んだ山林ボランティア、菜の花プロジェクトの奈良コープの皆さん、奈良女子大のキャンセア・グループ、黒髪山のボーイスカウト仲間、さらには地元地区連合自治会長さんなど、里山に惹かれ活動に参加される人の輪が広がってきました。

ならやま里山林のある地域には、平城宮跡や佐保佐紀古墳群などが点在し、歴史的風土特別保存地として奈良県が指定しています。法令上の用途制限もあって、ここの雑木林、田畑跡は比較的いい状態で残っており、適切に手を入れれば里山的な景観を取り戻すことも十分可能だと判断されます。1年間の活動を通じて、少しずつ姿を変えていく里山の風景に確かな手応えを感じているこの頃です。

2008年度の展開としては、①山林の整備と観察路の設定、②放棄ごみなど環境のクリーン・アップの推進、これと並行して、③地元の小学校やボーイ・スカウトなどの児童を対象に、自然環境教育の場として活用することを3本の柱に活動したいと考えています。

奈良県は、豊かな歴史的、文化的遺産が自然の中に調和しながら残っています。そのどちらも人間の適切な保存の努力なくしては維持できません。奈良という風土の中で育まれた歴史や文化を大切にすることと、奈良の自然を正しく保全していくことは表裏一体の関係にあります。「我々は大和の自然を愛します」という当会のモットーを実践する活動の柱として、このプロジェクトを位置づけ、継続して推進していきたいと考えています。 会員皆各位のご理解とお力添えをお願いいたします。



季節感と日本語

川井 秀夫

最近、富に学生の国語力が落ち、漢字の誤字・あて字が目につき、万物に対する感性も鈍くなって、古き時代の人間から慨嘆の聲が、しばしば聞こえてくる。

戦後、西洋文化の移入が過剰化し、科学技術の進歩により、優秀な機器が市場に氾濫するに及んで、利便さと反比例する様に人間の脳が退化していく様にも思われる。

かって、タイプライターの時代には辞書で漢字変換したものが、ワープロの登場でやすやすと変換が可能になり、今 電子辞書やパソコンで瞬時に解説・文書化され、機械文明に翻弄される脳の記憶装置も、さほど重要でなくなり、学力低下もむべなるかなと思う。

今年も季節の移ろいは早く、春の息吹を感じる頃となりましたが、私の「すさび」として春から初夏の季節の語句から日本語のもつ奥深さ、床しさ、面白さを、少し書いて見ました。

1 樹々の目覚め

冬の樹林を「裸木」「寒林」「枯木立」「冬木立」「寒木」等々ありますが、二月から三月の始め頃は木芽時（このめどき）といって、木も草も一斉に芽を出し春の開幕を告げてくれます。日本語では植物が芽を出す言葉が多く、一部を紹介して見ました。

「芽ぐむ」「芽ざす」・・・枝の先にそれとおぼしきものが現れた状態。

「芽ばる」「芽だつ」・・・その芽が大きくなった状態。

「芽吹く」・・・遠くから見て梢がポオッと青みをおびている状態。

「芽ばえる」・・・草に言う言葉で、つちの上にひょっこり顔を出した状態。

「萌える」・・・その芽が成長して、そろそろ葉になりかける状態。

その外に「アシ」は「つのぐむ」と言います。

日本人の季節に対する感覚の細かいことを表しています。難しいですナ 日本語は。

2 ホトトギス

俳句では夏の季語ですが、色々な呼び名が使われます。英語では「Little Cuckoo」で「Cuckoo」と区別されているだけです。

日本語でピンとくるのは「時鳥」「不如帰」程度でしょうか。これはまだ序の口。

「子規」「杜鵑」「杜宇」「田鵑」「催帰」「蜀魂」「田喰鳥」「株背鳥」

「沓手鳥」「卯月鳥」「早苗鳥」

外に、「あやめ鳥」「橘鳥」があり、漢名のもので多く見られますが、スペースがなく、説明を省略致しますが、季節を冠にした日本人の心が伺われます。

自然観察も切り口を変えると、新しい心象風景が見えて来ます。次の機会があれば、四季の風を考えてみたいと思います。

1月31日(木) 曇り 参加者15名(内会員14名 非会員1名)

冬季の山林整備活動日

県から1月15日付けで、隣接する湿田跡地の使用許可が出された。生活環境部風致保全課古都管理係北川係長、岸本主任が9時来訪、管理方法を打ち合わせる。一部を駐車スペースとしての使用を要請、検討の約束を得る。10時活動開始。

E地区の里山の観察路 (1月～3月)

ルートと観察路工事について最終調査を行い、民有地との境界について再確認する。D区の林の中に立派な顕彰碑「吉田儀助翁記念松」(昭和13年3月18日)があるのを発見。事実関係を調査することにする。工事は次回より開始。観察路周辺の樹木調査を継続。

田圃跡地の笹藪の除伐 (1期)

b地区の笹藪整理を続行。相変わらずおびただしいごみが出てくる。早急の搬出を県担当に依頼する。刈り取った笹藪跡の利用方法について検討を始めることにする。

12時30分、雪もちらつく中で、心づくしの暖かい豚汁を頂きながら、賑やかな昼食となる。次回(2月22日)の例会「野鳥観察会」下見のメンバーが合流、お汁粉に舌鼓を打ちながら、冬鳥情報の花が咲く。 3時解散

2月7日(木) 晴一時曇り 参加者17名(内会員14、新人1、非会員2)

里山観察路

工事開始。急坂など危険が予測される箇所の整備を最優先に取り掛かる。用意した杭スコップ、カケヤ、ロープなど使ったの工事、仕上がりは十分満足できる自信作と。3月中には1期工事を完成させると意気盛ん。

田圃跡の笹藪

笹藪との苦闘が続く。しかし、作業が進み刈跡が広がって視界が開けてくると、何か元気が出てくるから妙だ。放棄ごみをおびただしく道路わきに積み上げ、行政からの撤去作業を待つ。

冬の畑作業

空いている畑は、土の天地返しをして寒ざらしする。春ジャガイモ用の畝作り、施肥。

堆肥枡作り

かねて頼んでいた使用済みのコンパネ20枚が届く。資材置場と腐葉土や堆肥を作る木枡を作る。腕に覚えの川勝さんの指導で、先ず1基作り上げる。次回残りを完成させる積り。堆肥がたっぷりできるようになれば、そろそろ有機農法にもチャレンジしてみたい。関心のある人、やってみたい人、如何ですか。同志を募ります。 終了 3時30分

追記

2月19日、県生活環境部窓口を訪問、19年度の活動状況と20年度の構想を報告、活動方針への理解とバックアップを要請した。

(古川祐司 記)

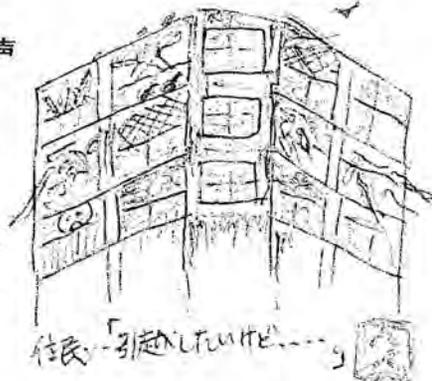
ドバト(カワラバト)

小田 久美子

2/18(月)お昼を食べながらテレビウォッチング。『奈良の・』という声に「ムム・遷都 1300 年か?」耳がダンボしました。

ところが、「臭い・汚い・不衛生?」というレポートの声と一緒に、窓は封鎖、ビニールテープや脅しのグッズがぶら下がる、何処かの国のスラム街かと思う光景が映し出されていました。JR 奈良駅近くのこの市営住宅はあの黒川さんの設計なのだそうです。「臭い・汚い・不衛生」の原因はドバトでした。彼らにとってこのベーシックなデコボコした建物は生まれ故郷に似てお喋りの場所、近くには奈良駅、奈良公園とわざわざ餌をくれる親切な人間たちがいて子育て支援も

ぼっちり。ここでも問題は私たち人間の側にありました。★ゴミを出さない、★餌はやらない。あなたの回りの「善意の支援者」たちにもこの事を是非伝言ゲームして下さい。お互いの平和のために。。。



自然俳句欄

連山の寡黙の冬を楽しめり

川井 秀夫

1月例会。春日原始林を歩く。この世界にも命のせめぎ合いを教わる。春近く、静かな世界に躍動が始まる。



★今年(1/25)は奈良公園もピンズイの大集団、アトリの大集団、をはじめとしてイカルも沢山きてもういい声でさえずっています。大阪や神戸の方は少ないというツグミの団体があちこちにいる例年よりもずっと多いです。まだ早いかなと思っていたとレンジャクが1羽ツグミに混じってとまっていた。

(1/16)水上池にもオシドリとミコアイサが例年より多いと思います。

(西谷)

★2月18日奈良公園でルリビタキとトラツグミを見たい!と探していたら青い羽の鳥が白い実をくわえて目の前の枝にとまっていた。ルリビタキでした。帰り道では「トラツグミ トラツグミ...」と歩いていた暗い所が好きな筈なのに林の入り口に陽の光を浴びて輝いているトラツグミがいたんですよ! その体の鱗模様のなんときれいなこと! あちこちと忙しそうに動き回るのを20分位つきあつたでしょう。うれしい一日になりました。

(齋藤)

★(斑鳩より)2月1日ベニマンコ初見竜田川と大和川の合流点の木に止まっていた。

2月18日大和川のごみのいっぱい引っかけた木の茂みでウグイスのか細い初鳴き。

去年は1月29日でした。

(勝田)

★2月9日(土) 奈良公園探鳥会でムギマキという旅鳥に出会いました。

(小田)

20年度 会費振込のお願い

会員のみなさんへ

新年度を迎える時節となりました。

奈良・人と自然の会も発足して7年、先日の幹事会において19年度の活動を振り返りつつ、ならやまプロジェクトをはじめ斬新な活動の企画を立てたところです。

引き続きみなさまの会員の継続を期待するものであります。

つきましては、同封の「払込票」に記入例を参考に記入のうえ、3月中に会費の振り込みをお願い申し上げます。



原則 前日の午後7時前のNHK天気予報で降水確率(午前)60%以上の場合は中止

『ならやま里山林プロジェクト3月の予定』

場所 奈良市奈良坂町・佐紀町の県有林 (JR 平城山駅下車徒歩10分)
—「ならやま会館」前の道路(ならやま大通り)の南側に広がる林地—

日時 3月6日(木)、22日(土) …… 一般活動日
3月31日(月) …… 山整備作業日

(いずれも 10時集合、終了予定3時)

集合 現地ベースキャンプ地 マイカー7~8台の駐車可

交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場9:36発 高の原行
②近鉄高の原駅 バス1番乗場9:38発 JR奈良行

①②とも佐保台西口、または平城大橋下車 徒歩約7分

携行品 弁当、飲み物、防寒具、軍手 (用具は現地に用意しています)

活動内容

里山林整備、遊歩道整備・植生調査、放置田跡の笹刈、畑手入れ、花植栽地整備

冬季(1~3月)の里山整備作業日の増加について

山作業は冬場に重点的に行いますので、各月末(通常月の予備日)を、冬季に限り、里山整備のための活動日としています。

花畑作り募集

この景観にふさわしい花畑を作りたいと思っています。やりたい方を募集します。また、山野草類の育成についてアイデアや苗をご提供下さい。また果樹の苗などもいただければ幸いです。

(問合せ先 古川

小嶺

【奈良忍辱山森林整備作業】

- (場 所) 奈良市忍辱町 国有林 東海自然歩道沿いの二次林です。
(忍辱山円成寺駐車場) より徒歩 10 分
- (集合場所) 国道 369 号線 忍辱山円成寺駐車場
(奈良交通バス停 忍辱山円成寺下車少し戻る)
- (日 時) 3月13日 【集合時間 10.10 より、終了予定 P m 3 : 00 ころ】
4月16日 バス時刻を含め 4 月会報でご案内
- (天 候) NHK 天気予報 (前日 P M 7 時前) 60% 以上中止します。
- (交 通) 奈良交通バス 近鉄奈良駅前バス乗り場④番 9 : 40 柳生・月ヶ瀬温泉行き
- (持ち物) 作業のできる服装、昼食、飲み物、手袋、
ヘルメット、のこぎり、防護メガネなどの用具は、準備していますが、
お手持ちのものあれば持参ください。ご参加お待ちしております!!

作業報告…2月15日(金)、参加者—寺田正博、弓場厚次、中畑 進、明石嘉一郎、寺田 孝、阿部和生、6名。不参加ご連絡も 4 名あり心強く感じました。斜面によっては、残雪の残る寒い一日でした。初参加の寺田孝さんを交え、2人一組のペアを組み、整備作業を実施した。林間は明るくなり、来春にはつつじ類の花が楽しめるのではないかと思った。作業は湿地もあり「長くつ」が適します、3 月もこの延長を整理してしまいたい。 (阿部記)

三月オプション企画

国名勝指定・県立自然公園

月ヶ瀬梅溪へ

梅まつり



梅林を愛で、温泉 (天然温泉) で寛ぎませんか

名勝月ヶ瀬梅林へゆったりと専用バスで訪れます。見事な梅林の後は、「やぶつちや島ヶ原温泉」でくつろぎ帰ります。

バス予約のため ご参加の方 3 月 3 日までに連絡くださるようお願いします

阿 部 和 生 まで

- 日 時 平成 20 年 3 月 7 日 (金) 【小雨決行】
- 集合場所 近鉄奈良駅前 行基菩薩像 AM9:20 分 (9:30 出発)
- 持ち物 ハイキングスタイル、弁当、飲み物、手袋など
- コース 桃香野バス停あたりより→龍王の滝→八幡橋 (きれいな吊り橋) →月ヶ瀬橋→天神社→真福寺→八王神社→梅の里 月ヶ瀬温泉広場→島ヶ原温泉→バスにて近鉄奈良駅へ (交通費 ¥3,000 円)

—およそ 7 キロ弱の行程です—

(担 当) 阿部和生 () 境 寛

3月例会

早春の『山の辺の道』を歩く

古代ロマンに思いを馳せて、日本最古の野道を歩きます。
御陵あり、古墳あり、鳥の囀り、梅・桃・連翹の開花が和ませて
くれます。ゆったり気分で三輪 大神神社まで、春の息吹を感じな
がら、万葉びとになったつもりで楽しんで下さい。

1 日 時 3月15日(土)

2 集 合 JR桜井線 柳本駅 改札口前 AM 10:00

◆ 交通ダイヤ(近鉄)

大阪より	鶴橋	西大寺	(乗換)	天理	(乗換)	JR柳本
(快速急行)	8:40	9:03	9:10	9:28	9:53	9:59
奈良より	(急行)	9:10	9:28	9:53	9:59	
	(普通)	9:24(平端駅乗換)				
			9:37	9:43	”	”
	JR利用		奈良			
			9:38			9:59
	”		桜井			
			9:38			9:49

3 行 程 柳本駅～黒塚古墳～天理トレイルS・長岳寺～
崇神・景行天皇陵～検原神社～玄寶庵～大神神社～
金屋の石仏～海柘榴市観音～仏教伝来の地 解散 3:00

4 準 備 弁当持参 (検原神社前に茶店あり 入麴・せんざい等)

担当 川井 秀夫

阿部 和生

<4月の予定>

4月度例会「大仏鉄道・桜の鹿背山のアンコールに込めて」

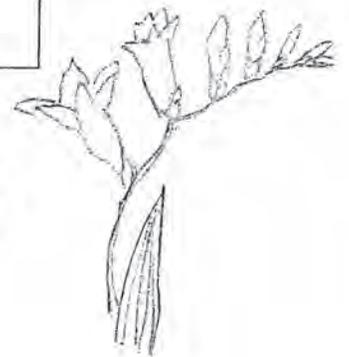
日程: 4月5日(土)

集合: JR加茂 午前10:10集合

担当: 大石

川井

★詳細は会報第75号<4月号>でお知らせします。



協力活動「いこま棚田クラブ」3月活動日 ご案内

活動日…3・2(日)、3・10(月)、3・16(日)、3・24(月)、3・30(月)

3月2日は椎茸菌の植え付け予定です、ぜひご体験ください!

集合場所: 近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間: 9時 現地までタクシー他 分乗で移動

持物: 弁当、作業スタイル、寒さにご注意ください。

事務局: 大寺道代

平成19年度2月度幹事会議事録

日時: 平成20年2月19日(火) 13:30 ~ 16:30

場所: 奈良県女性センター

出席者: 12名

司会: 林、書記: 岩田

【報告事項】

(1) 会員動向、会計報告

・会員数: 94名 現金残高: 78,432円

(2) 奈良・忍辱山森林整備作業 2/15 6名で作業。4/1から実施する徐伐作業申請をした。

(3) ならやま里山林プロジェクト

・1/31 (15名) 投棄ゴミの搬出作業をした。・1/15 付で作業許可書の通知書が送付されてきた。本日(2/19)、県庁で担当者と打合せをしてきた。・2/7 仮払い機5台貸与。笹刈り作業をした。また、腐葉土作りのマスも作成した。・県とも打合せ区画標示し記号を付した。・依然としてゴミが不法投棄されるので、協力要請の標示を掲出する準備をしている。

(4) いこま棚田クラブ

・1/6、1/13、とんどの準備・本番、1/20、1/28と作業をした。

(5) シニア自然大学進路説明会

・2/9 阿部さん参加。パネル展示等で活動の紹介をしたが、準備した会報等はなくなり、例会に関心があった。ブース来所者の氏名を控えなかったので来年は検討する必要がある。

【討議事項】

(1) 平成20年度定例行事計画

①総会 5月25日(日)、(新会員のオリエンテーションの開催)

②例会の確認(別紙)

③忍辱山森林整備作業 担当: 阿部、明石、弓場。森林管理事務所と協議して月1回活動予定。(8月休み)

④ならやま里山林プロジェクト 担当: 古川、小嶺

平城山の歴史的風土の環境保全と県有林の景観形成活動の推進。

・地区小学校と提携して里山林を楽しんでもらう。・教育実習めざして活動。・自然観察林の整備。

⑤くろかみやま自然塾 担当: 境・黒髪山キャンプフィールド(支援活動) (8月、10月、11月)

⑥環境フェア(支援活動)(未定)

⑦アースデイ2008年 in 奈良(4/20)、平城京(5/3、4)〈詳細は次回検討〉(支援活動)

⑧いこま棚田クラブ(協力作業)

(2) 3月～5月 定例行事の確認

・ならやま 3月6日(木)、・例会「月ヶ瀬梅林」3月7日(金)、・忍辱山森林整備作業 3月13日(木)、

・例会「山之辺のみち」3月15日(土)、・ならやま 3月22日(土)、31日(月)

・4月例会「大仏鉄道」4月5日(土)、

編集担当: 勝田 均

TEL&FA

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀天